

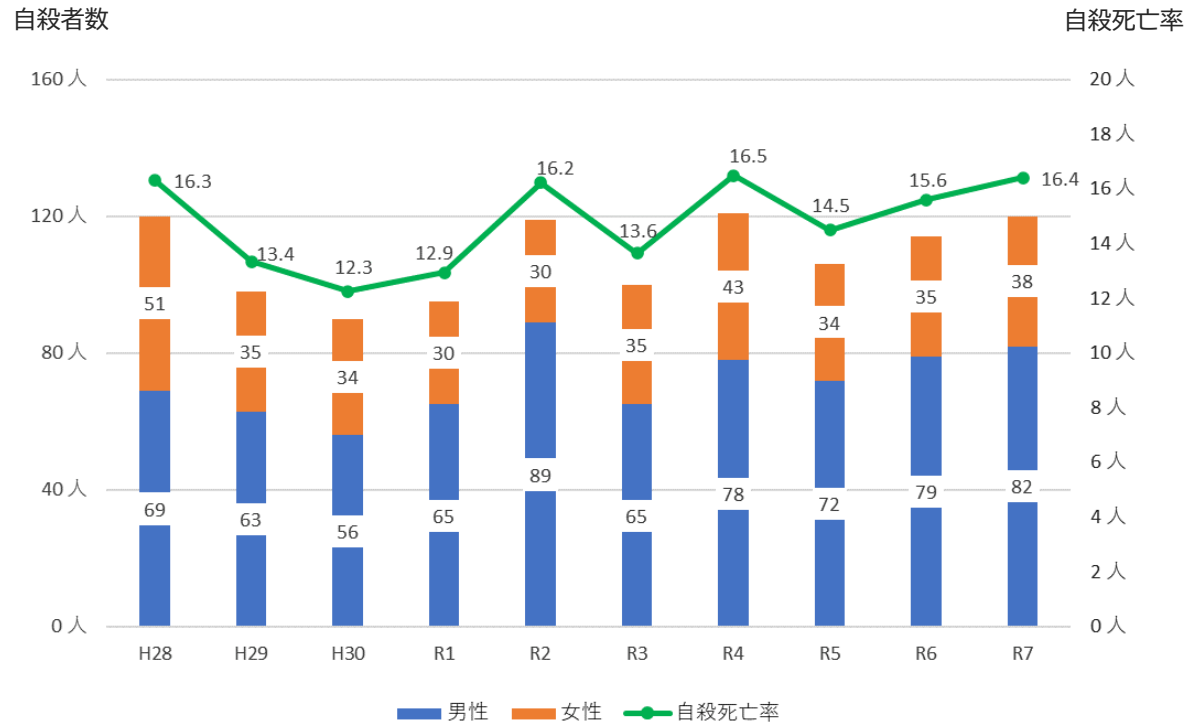
# 熊本市の自殺の状況と対策

健康福祉局 障がい者支援部 こころの健康センター

# 1 自殺者数と自殺死亡率の推移・男女別内訳

【出典】厚労省自殺統計(熊本市:住居地・発見日)

- 令和6年の自殺者数は114人、令和7年は暫定値で120人(前年比+6人)
- 令和7年、男性は82人(前年比+3人) 女性は38人(前年比+3人)
- 自殺者数は平成30年まで減少傾向であったが、その後はやや増加傾向がうかがえる



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
自殺者数	120人	98人	90人	95人	119人	100人	121人	106人	114人	120人

※R7年は暫定値

## 令和7年自殺者数

**120** 人 前年比 +6人  
(男性82人 女性38人) (男性+3人 女性+3人)

令和7年自殺死亡率 ※人口10万人当たりの自殺者数

**16.4** 人 前年比 +0.8人

### 【参考:R7年の状況】

自殺者数 全国 19,097人 熊本県 254人  
(前年比 ▲1,223人 ▲8人)

自殺死亡率 全国 15.4人 熊本県 14.8人  
(前年比 ▲0.9人 ▲0.4人)

## 2 男女別・年代別 自殺の状況

【出典】厚労省自殺統計(熊本市:住居地・発見日)

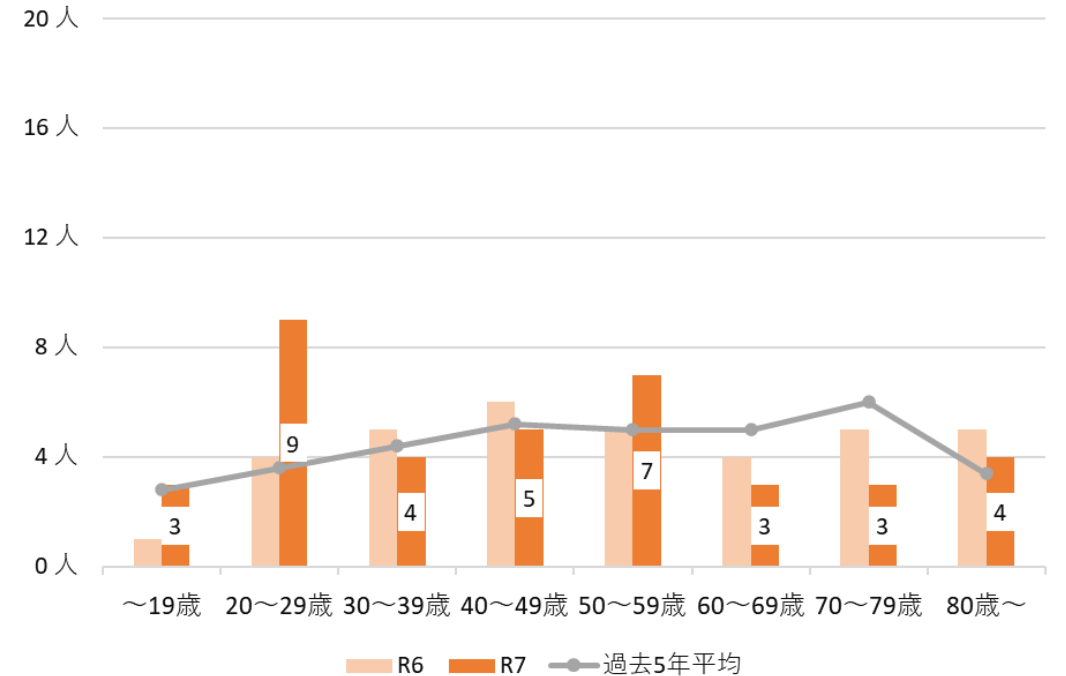
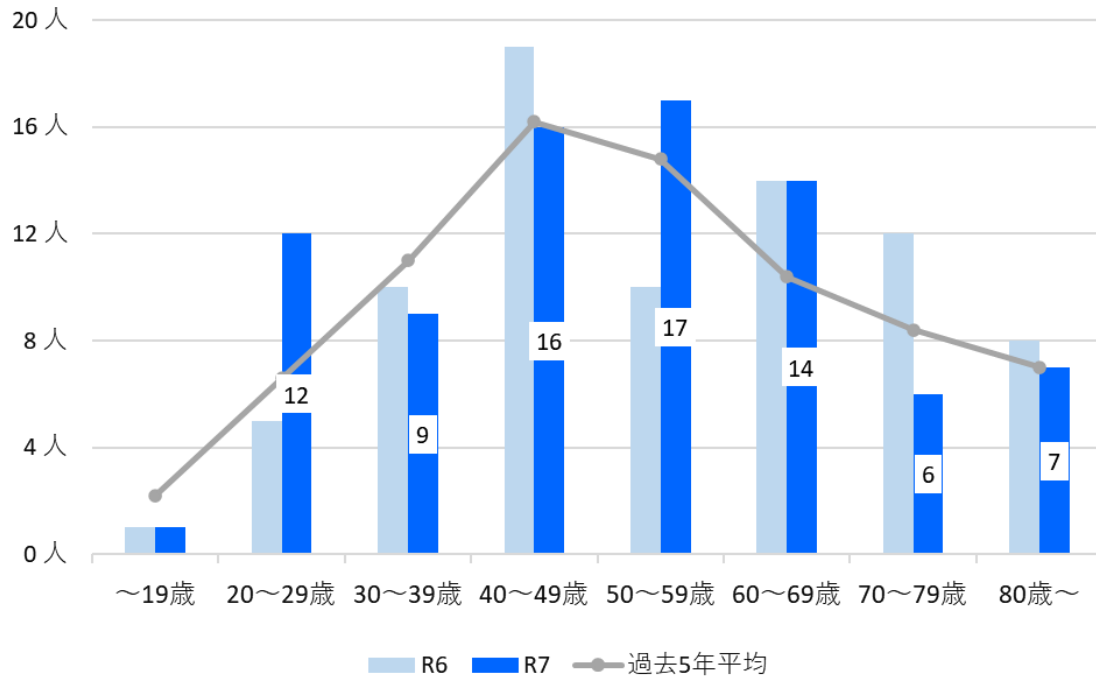
男性の自殺者数(令和7年) **82** 人  
(前年比 +3人)

- 40歳代、50歳代の自殺者が多い
- 20歳代、50歳代は前年から大きく増加

女性の自殺者数(令和7年) **38** 人  
(前年比 +3人)

- 20歳代、50歳代の自殺者が多い
- 20歳代は前年から大きく増加

### ○ 年代別内訳



# 2 男性の自殺への対応

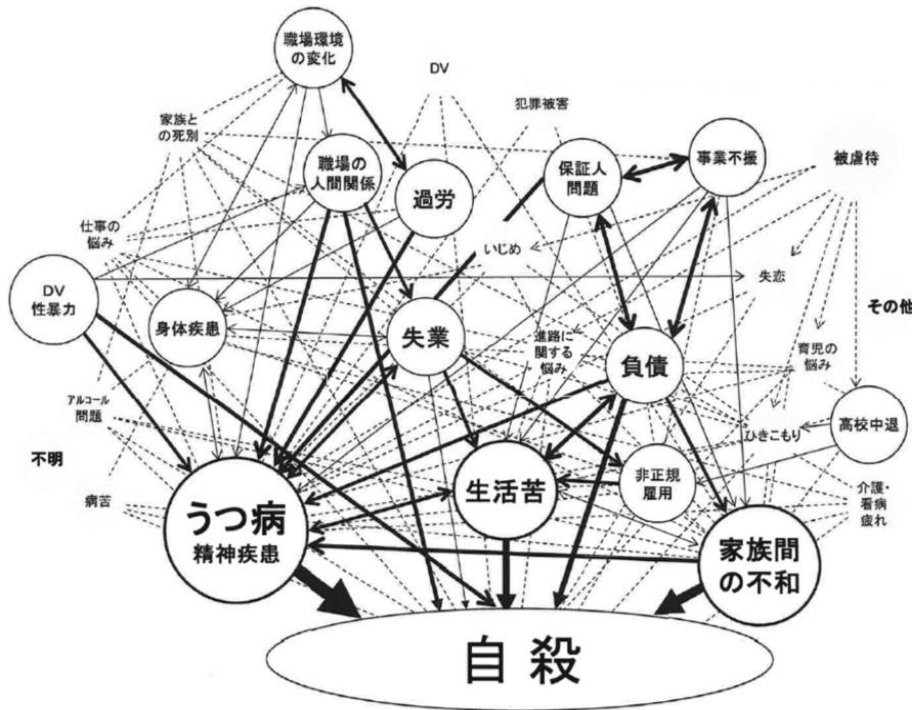
自殺の原因には様々なものがあり、複雑に絡み合った末に自殺に至るとされている。

男性の主な自殺原因である負債や失業、事業不振等の経済・生活問題については、本市でも様々な専門相談窓口を設置しており、相談者の様子や生活状況の把握など早期に気づき支援に繋げる対策を実施。



中高年男性は辛い悩みを抱えていても周りに助けを求めづらい傾向あり

〈自殺原因の連鎖図〉



## 〈ゲートキーパーの養成〉



- 気になる人がいたら声をかける
- 話を聞く
- ※「気持ち」ではなく「体調面」から聞く
- 必要に応じて相談機関へ繋ぐ

## 〈相談窓口の開設、周知〉



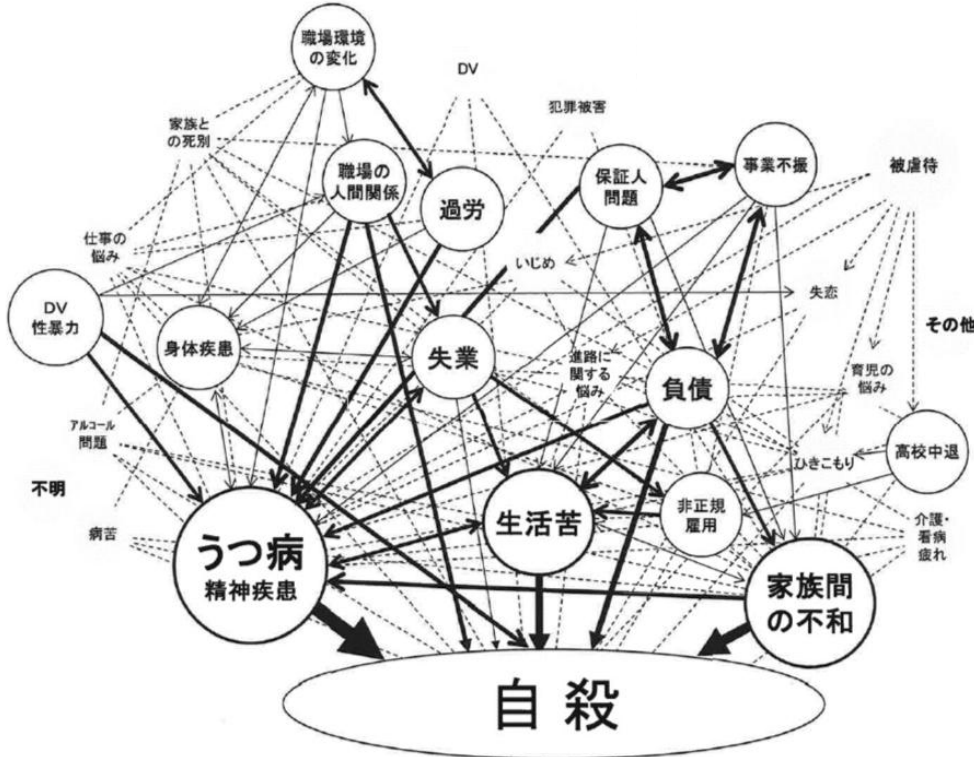
- ぐらしとこころの悩みの相談会では、こころの悩みだけでなく、借金や仕事の相談も同時に可能
- その他、様々な相談窓口があることを周知する

【出典】自殺実態白書2013 (NPO法人自殺対策支援センターライフリンク)

# 3 女性の自殺への対応

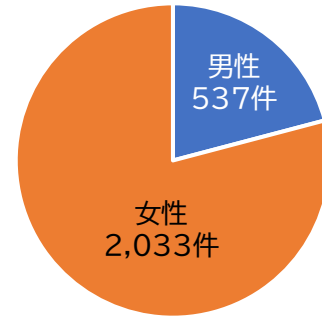
女性の自殺の原因では、健康問題(特にうつ病)が最も多く、その他、育児の悩みや家族間の不和、DV等があげられる。女性は相談窓口につながりやすい特徴があることから、窓口の周知と相談につながった方を再度の自殺企図を防ぐなど適切な支援を実施。

〈自殺原因の連鎖図〉



## 〈相談窓口の設置、関係課・機関との連携〉

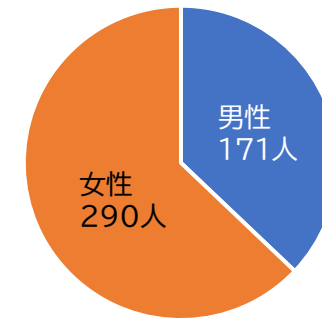
- R6年度 SNS相談(こころの悩み相談@熊本連携中枢都市圏)対応件数



- 様々な悩みを相談できる電話やSNSを活用した相談の実施
- 相談に対しては、各種専門の窓口や地域の支援者への繋ぎによる連携支援を実施

## 〈自殺未遂者支援の継続〉

- R6年 自損行為の搬送者数(熊本市消防局より)



- 女性は男性より自傷や自殺未遂により搬送される割合が高い
- 自殺未遂者はその後の自殺リスクが高く、再度の自殺企図を防ぐため、丁寧な個別支援が必要

【出典】自殺実態白書2013(NPO法人自殺対策支援センターライフリンク)



# 4 こどもの自殺への対策① ゲートキーパーの養成

【市長マニフェスト048】関連

いじめ等による自殺によって、子どもの尊い命が失われない社会の実現に引き続き取り組みます。  
例えば、悩みを持つ子どもに必要な支援を行う「ゲートキーパー」の養成に取り組みます。

拡充

1

## 教職員向けゲートキーパー研修

熊本県と合同開催、外部講師による集合研修を実施

※令和7年7月28日(月) (パレアホール)

教職員が広く視聴できるよう教職員システム上に動画を掲載

拡充

2

## 若者版ゲートキーパー研修 (あいプロジェクト)

大学生を講師とした高校、中学生を対象とした研修を実施

※令和8年3月時点 1,365名受講

継続

3

## 支援者向け・市民向け研修

6時間養成研修

※令和7年度 52名受講(R8年3月時点)

出前講座

※中学校、生徒指導主任主事会等で実施

# 4 こどもの自殺への対策② 自殺予防啓発講演会の開催

こどもの抱える課題に対し、心理的なアプローチで援助を行う「スクールカウンセラー」、さまざまな機関と連携し解決に向けた支援を行う「スクールソーシャルワーカー」。

こどものSOSに気づき、対応するため、これら専門職の視点から家庭及び学校においてどのように対応すればよいかを学ぶ啓発講演会を開催。

## こどものサインに気づけている？

### ～スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーと学ぶこどものSOS～

日 時:令和7年8月3日(日) 10時～12時

場 所:中央公民館 7階ホール

対 象:保護者、教職員、こどもに関わる方 等

定 員:100名

座 長:黒田 信子 氏(NPO法人 優里の会 理事長)

シンポジスト:田中 慎一郎 氏(出水南中学校長)

宮地 啓悟 氏(スクールカウンセラー)

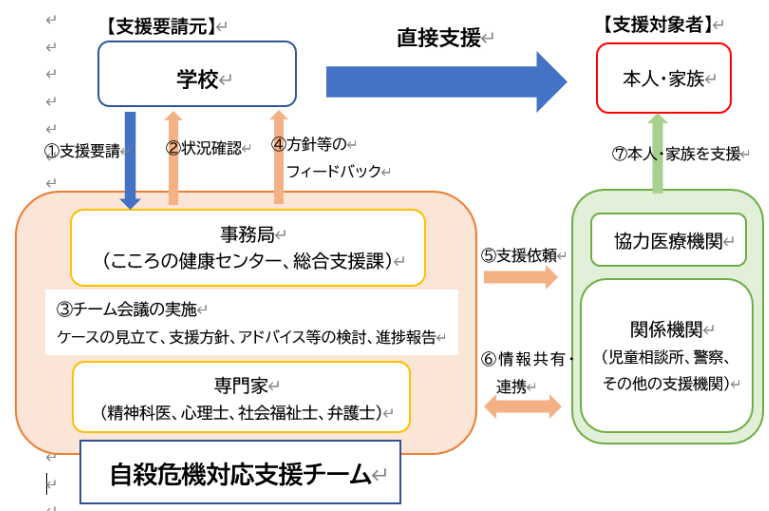
松永 美弥 氏(スクールソーシャルワーカー)





## 1 事業概要

精神科医、弁護士等多職種の専門家で構成する「こどもの自殺危機対応支援チーム」を設置。学校等では対応が困難な自殺リスクを抱えた子どもへの対応等について助言する。



### 支援の対象

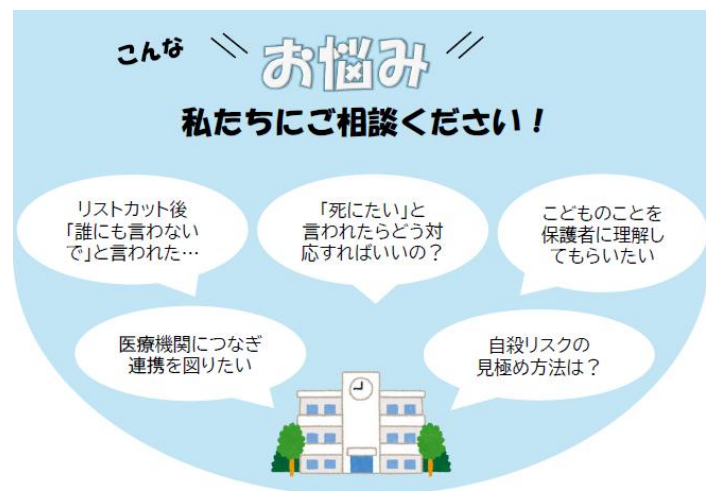
- ① 自殺未遂歴がある
- ② 自傷行為の経験がある
- ③ 自殺をほのめかす言動があり、自殺の可能性が否定できないなど、自殺リスクの高い子どもが在籍している小中高校

### 検討内容

- ◆ 自殺リスクアセスメントに関する事
- ◆ 支援方針に関する事
- ◆ 支援後のフォローアップに関する事 等

## 2 チーム事業を通じて目指すところ

- ① 地域におけるこどもの自殺危機への迅速かつ適切な対応支援
- ② 地域における自殺対策力の向上



原則として児童・生徒の名前は問わず、匿名での相談が可能です。学校現場のお悩みを軽減できるようお手伝いいたします。

**熊本市こどもの自殺危機対応支援チーム**  
(精神科医・心理士・社会福祉士・弁護士)

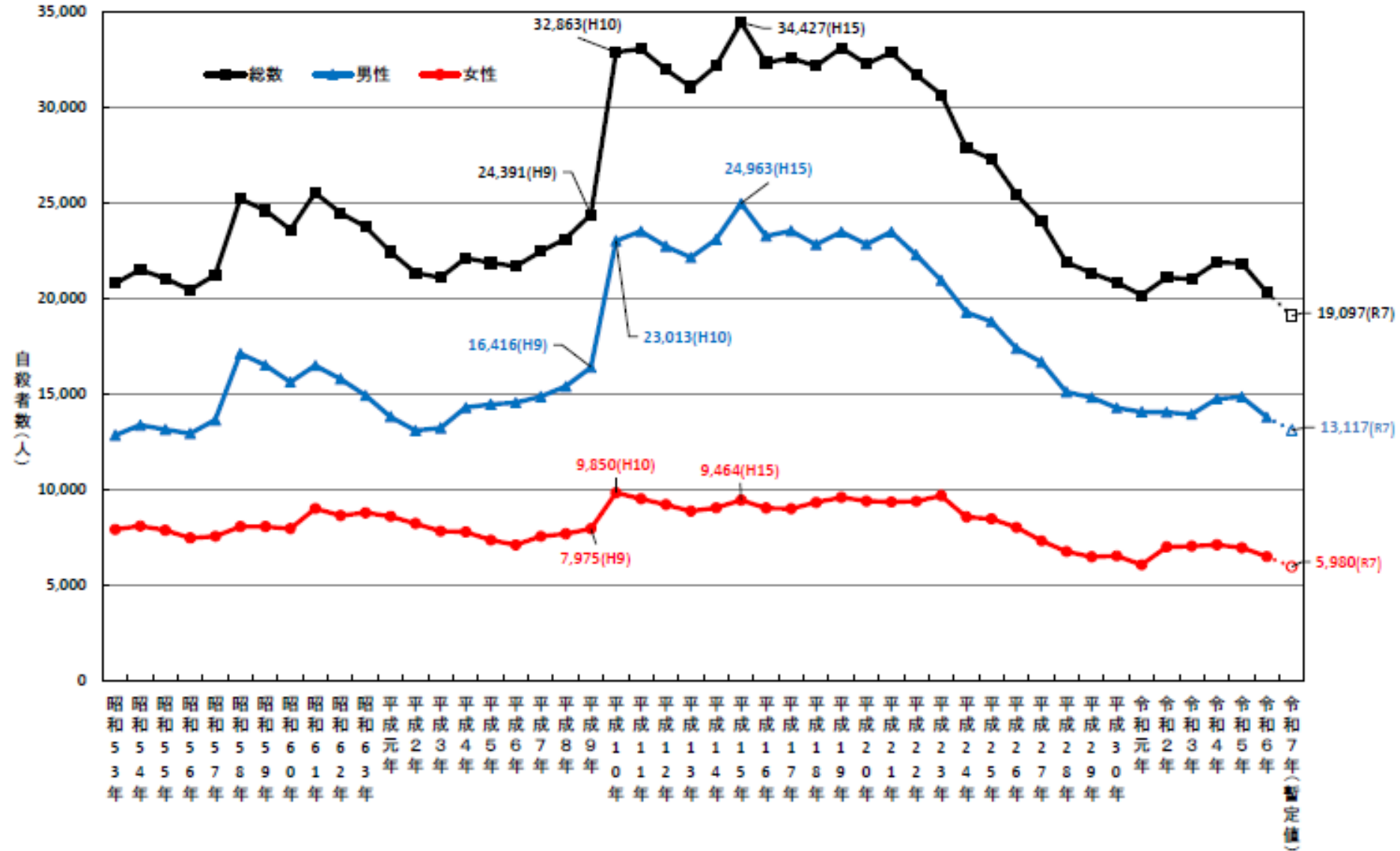
- 毎月1回 対応検討 会議開催
- 〈助言の一例〉
- ◆ 受診の必要性や医療機関との連携方法
  - ◆ 学校の責任に関する法的根拠や対応策
  - ◆ こどものことばの裏にある気持ちの理解や対応
  - ◆ 地域資源の活用方法や保護者との関係調整 など

# 資料

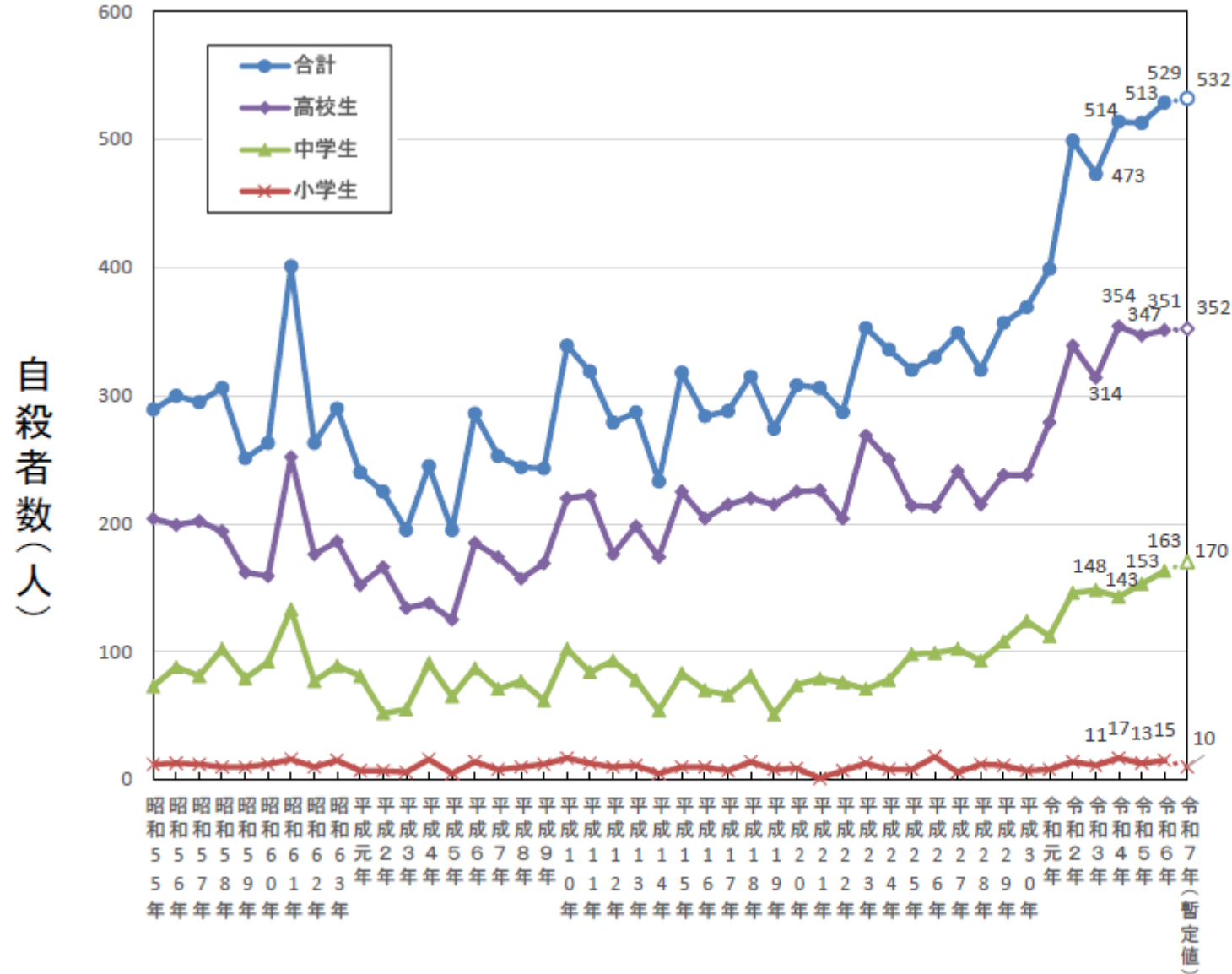
# 政令市の状況

	R2			R3			R4			R5			R6		
	市区町村名	自殺者数	自殺死亡率	市区町村名	自殺者数	自殺死亡率	市区町村名	自殺者数	自殺死亡率	市区町村名	自殺者数	自殺死亡率	市区町村名	自殺者数	自殺死亡率
1	大阪市	516	18.9	仙台市	204	19.1	大阪市	566	20.7	北九州市	206	22.2	北九州市	170	18.5
2	仙台市	200	18.8	福岡市	298	19.1	北九州市	183	19.5	大阪市	559	20.4	札幌市	361	18.4
3	福岡市	288	18.5	大阪市	516	18.8	福岡市	292	18.6	札幌市	375	19.1	相模原市	130	18.1
4	名古屋市	418	18.2	北九州市	172	18.2	札幌市	363	18.5	新潟市	145	18.7	大阪市	498	18.1
5	相模原市	125	17.4	新潟市	141	18.0	静岡市	126	18.3	神戸市	279	18.5	新潟市	138	18.0
6	北九州市	163	17.1	札幌市	347	17.7	名古屋市	418	18.2	福岡市	290	18.3	名古屋市	407	17.7
7	堺市	143	17.1	岡山市	122	17.2	新潟市	142	18.2	京都市	246	17.8	浜松市	139	17.6
8	神戸市	260	17.0	広島市	205	17.2	相模原市	129	17.9	名古屋市	400	17.4	さいたま市	236	17.5
9	札幌市	326	16.6	名古屋市	388	16.9	堺市	148	17.9	浜松市	137	17.3	広島市	195	16.5
10	熊本市	119	16.2	神戸市	253	16.6	仙台市	188	17.6	静岡市	117	17.1	仙台市	176	16.5
11	さいたま市	207	15.8	相模原市	114	15.9	神戸市	254	16.7	相模原市	121	16.8	神戸市	243	16.2
12	千葉市	149	15.3	千葉市	152	15.6	熊本市	121	16.5	堺市	138	16.8	熊本市	114	15.6
13	新潟市	120	15.2	堺市	128	15.4	千葉市	158	16.2	仙台市	179	16.8	千葉市	148	15.1
14	静岡市	105	15.0	静岡市	103	14.8	浜松市	128	16.1	さいたま市	222	16.6	福岡市	238	14.9
15	広島市	179	15.0	京都市	207	14.8	広島市	183	15.4	広島市	191	16.1	川崎市	225	14.7
16	京都市	206	14.6	さいたま市	194	14.6	京都市	212	15.3	岡山市	111	15.8	堺市	120	14.7
17	川崎市	220	14.5	横浜市	522	13.9	川崎市	228	15.0	横浜市	555	14.8	京都市	201	14.6
18	横浜市	519	13.8	浜松市	110	13.8	さいたま市	188	14.1	千葉市	144	14.7	岡山市	99	14.2
19	浜松市	110	13.7	熊本市	100	13.6	横浜市	519	13.8	熊本市	106	14.5	静岡市	95	14.0
20	岡山市	95	13.4	川崎市	185	12.2	岡山市	87	12.3	川崎市	214	14.0	横浜市	525	14.0

# 自殺者数の年次推移(全国)



# こどもの自殺者数の年次推移(全国)



自殺者数の前年差

	令和6年 (確定値)	令和7年 (暫定値)	前年差
小中高生	529人	532人	3
小学生	15人	10人	-5
中学生	163人	170人	7
高校生	351人	352人	1

# ゲートキーパー養成者数

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
6時間養成研修	67	34	38	45	44	62	44	37	45	33	0	68	62	579
短時間研修ほか	126	32	86	84	102	327	167	213	119	165	298	1,754	3,087	6,560
計	193	66	124	129	146	389	211	250	164	198	298	1,822	3,149	7,139